

志高く、夢に向かっていきいきと ～総合学科発表会～

熊本県立牛深高等学校



12月16日(土)に牛深総合センターにおいて、本年度開設3年目となる総合学科の発表会を開催しました。発表では、各学年の代表2組の計6組が、総合学科カリキュラムの柱となる二つの教科「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」における調査、研究の成果を発表しました。

河浦高校との統合で新たに総合学科高校として設立されて3年。開会において生徒実行委員長を務める3年生の元寄さんは「牛深高校に入学して、挑戦の連続だった。失敗もあったが、次の代へ続く柱となったと思う。また、牛深高校は入学したら楽しい学校で、行事などを通して地域・地元の良さに気付くことができる。3年という節目に地域への感謝をこめて、これまで取り組んできたことを発表したい。」と挨拶しました。

各学年の発表は、1年生が職業インタビューと地元の産業についての調査報告、2年生がインターンシップ体験報告、3年生が課題研究の成果報告という内容でしたが、どの発表も生徒の頑張りで、学習の成果がしっかりと伝わる充実した発表となりました。中でも3年生女子3人が発表した『「アオサ」で守る海の青さ』は、環境保全と地域経済の活性化について研究したもので、発表後には、地元企業と共同で開発したアオサ食品の試食も行いました。ちなみにこの研究を行った3人は、アサヒグループホールディングスが主催する実践型ワークショップ「アサヒ若武者育成塾」のメンバーに選出されており、翌17日(日)に東京で行われた育成塾の発表会では、同テーマで「地域活力向上賞」を受賞しました。

発表会は、地元の中学校の生徒、保護者、職員その他、地域住民の方にも参観していただきました。参観者からは「とても魅力ある学校で絶対入学したいと思います。(中学生)」「地域とともにある学校として期待しています。(中学校職員)」「発表者の明るくて楽しそうに表現している姿は頼もしかった。牛深高校の明るい将来を予感できた。(地域住民)」等の本校生徒、職員の胸を熱くする感想が数多く寄せられました。

一方、初めての発表会で参観者数が少なかったことが課題でした。今後、より多くの方々にこの発表会を参観していただくためにも、生徒が志高く、夢に向かっていきいきと活動する姿を中心に、本校の魅力を地域に向けて積極的に発信していきたいと考えています。次年度の発表会へのたくさんの方々の来場を心からお待ちしています。



アオサ研究を発表する3人